

ねいとろ 麻雀部

第7回早慶大会特集



練馬稲門会麻雀部「会報21号」 平成26年4月1日発行・編集委員会

皆さん、こんにちは。平成26年3月2日(日)、第7回練馬早慶合同麻雀大会を28名参加のもとで開催しました。本会における目標は、「団体戦初の4連覇」と「個人戦タイトルの奪還」にありましたが、団体戦のみ達成です！
 今回個人戦の優勝を逃した関係で、「練馬麻雀グランドスラム※第2号」の挑戦資格者は小井土有治・後藤修一郎両部員のみとなりました。GS第1号の川田啓部員と同様に、本年4月の熱海大会での達成が期待されます。それはさておき、今大会の詳細をお届けします。(本会主催:「練馬稲門会麻雀部」:部長・富岡 晃)

「第7回・練馬早慶合同麻雀大会」において

当部が、「団体戦4連覇」達成！、個人戦タイトルならず！

練馬麻雀グランドスラム・リーチ、小井土・後藤両部員！

【団体戦4連覇の記】

麻雀部幹事

山田 興太郎

(昭41 法)

第7回早慶麻雀大会は3月2日(日)28名の参加者で開催。今回は個人戦の5連覇を阻まれましたが団体戦で3連覇を達成し、今回は団体戦4連覇をかけたの大会。2回戦まで拮抗した戦い、三田会わずかにリード。
 3回戦終了時点で、個人戦・内川三田会部員が+119点で飛び出し、団体戦では三田会が+104点とリード。稲門会苦戦。最終回戦に入り、個人戦内川三田会部員が+1で逃げ切りトータル120点で1位。2位・鈴木、3位・関、4位・近野、と稲門会の部員が続きました。



結果、個人戦上位の部員各位の活躍により稲門会は+118点で逆転。トータル14点差の団体戦4連覇。14点の差は過去最少の点差でした。懇親会の罰ゲーム、三田会のすっかり身についた「都の西北」の合唱の陰で、私は《♪栄光は～みどりの風に～♪》とつぶやいていました。

次回は三田会の個人3連覇阻止と稲門会・団体戦5連覇の偉業を目指し、《栄光の歌を》声をあげて歌いましょう！

【早慶大会・団体個人優勝一覧】

	団体戦	個人戦	
		優勝者	所属団体
第1回大会 (H22. 08. 29)	練馬三田会	須藤 作宏	練馬三田会
第2回大会 (H23. 08. 28)	練馬稲門会	南小柿 慧	練馬稲門会
第3回大会 (H24. 02. 26)	練馬三田会	後藤修一郎	練馬稲門会
第4回大会 (H24. 08. 19)	練馬稲門会	川田 啓	練馬稲門会
第5回大会 (H25. 02. 24)	練馬稲門会	小井土有治	練馬稲門会
第6回大会 (H25. 08. 18)	練馬稲門会	久保 里美	練馬三田会
第7回大会 (H26. 03. 02)	練馬稲門会	内川 隆	練馬三田会

※「練馬麻雀グランドスラム」とは、当部会が主催する4大会(例会・熱海・練馬早慶・近隣4地区)の全個人戦優勝者に付与する尊称。

★ 第7回 早慶大会の風景(2)



★ 第7回 早慶大会・会計報告

(単位=円)

収入の部				支出の部			
科目	予算	実績	備考	科目	予算	実績	備考
【前回よりの繰越金】	0	0	(前回剰余金)	賞金の支払(団体・個人)	74,000	74,000	(12名表彰他)
参加費収入	210,000	195,000	(26名×7500円)	場代の支払	33,600	33,600	(28名×1200円)
(懇親会費を含む)		8,000	(2名×4000円)	懇親会代の支払	98,000	91,000	(26名×3500円)
雑収入		5,000	(6回欠損金の補填・富岡晃)	会場設営費他	5,974	4,140	(横断幕制作他)
【収入合計】	210,000	208,000		【次回繰り越し金】	-1,574	5,260	
				【支出合計】	210,000	208,000	

編集後記

今回は三田会さんから、2名増打診後に、1名不足の緊急連絡があり、対応上、後藤部員にご迷惑をかけました。本欄を借りて、ご協力に対する謝意とお詫びを申し上げる次第です。(部長・富岡 晃)

・久しぶりの28名のご参加を頂き有難うございました。
 ・競技会の展開は、山田幹事の「団体戦4連覇の記」をお読み下さい。「最終回戦での逆転劇！」でした。
 ・懇親会は、庄や練馬店で行いましたが、奥の大部屋が満杯となりました。稲門会と三田会メンバーが、交互に着席し懇親を深めました。(A/T)